

若手建設業関係者を対象とした道守補助員コースの募集案内

長崎大学大学院工学研究科
インフラ長寿命化センター
センター長 松田浩

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から、インフラ長寿命化センターの活動に当り大変お世話になっています。

高度成長期に建設されたインフラが老朽化し、維持管理・長寿命化が喫緊の課題となっています。インフラの維持管理を適切に行うためには、インフラの異常の早期発見と早期対策が必須です。使用者の安全・安心の確保や予防保全に役立ちます。そのためには、インフラの異常に気付くことができる人材が地域に多数いることが必要です。

長崎大学大学院インフラ長寿命化センターでは道守養成講座を2008年に開始して、道路の点検・診断・アセットマネジメントができる専門技術者を養成するとともに、道路の異常通報システムを整備しています。

道守養成講座を受講するためには、現場の経験や資格が必要で、経験が少ない若手が受講するには少し無理があります。一方、若い世代にインフラの維持管理に関心を持ってもらい、活動に参加してもらうことも不可欠です。

今回(一社)九州地域づくり協会の人材育成助成事業の支援を得て、長崎県内の建設業、建設コンサルタント業及び県や市町の若手土木技術者(30歳以下、出来れば就職数年の方)25人程度を対象に6時間の土木技術者向けの道守補助員コースを開催いたします。前半の座学では、道路構造、コンクリート構造と鋼構造の劣化のメカニズム等の基礎を充実させたカリキュラムを使用します。さらに、後半の実習・演習では、インフラの点検や診断について経験豊富な道守認定者を講師として橋梁・舗装・道路付属施設を対象とした異常確認等の現場実習とスマホ等を用いた異常通報の演習を実施します。

また、これまでのように「1回限りの講座実施→後はボランティア活動に期待するシステム」では、活動に結び付かない課題があります。これを教訓に、本講座では道守認定者の道路清掃時に修了生にフォローアップ研修を実施するとともに、アンケート調査等を実施して、活動の定着の方策を立案することを計画しています。

この取組みによって、意欲がある若手を育て、将来の道守補コース等の養成講座の受講に結び付けることに期待ができます。

つきましては、貴職の若手の技術職員の皆様にご案内いただき、受講をお勧めいただくようお願いいたします、

敬具

〒852-8521 長崎市 文教町 1-14
長崎大学大学院インフラ長寿命化センター
TEL095-819-2880
FAX 095-819-2879
Email michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

道守補助員募集要項

1.対象

30歳以下の建設業(施工業、建設コンサルタント業、県・市町)に従事する土木技術者

2.募集定員

25人

3.受講料等

無料(九州地域づくり協会人材育成支援金を活用)、CPDS申請予定

4.実施日(延べ1.5日)

11月27日(金) 10時～17時 道守補助員コース

12月12日(土)(予定) 9時～12時 フォローアップ研修

5.会場

長崎大学、長崎市内の道路・橋梁(バス使用)

6.講師

座学 インフラセンター兼務教職員、長崎県職員

点検実習 道守認定者、インフラセンター兼務教職員

7.募集期間

9月18日(金)～10月16日(金)

8.申込み先

長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター道守事務局に FAX 又はメールでお送りください。

FAX 095-819-2879

Email michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

道守補助員コース 申込み用紙

年 月 日

ふりがな		生年月日	
氏 名		年齢	歳
所 属			
住 所	〒		
電話番号			
E-mail			
CPDS	要 ・ 不要		

※メールアドレスは職場のものでも個人のものでもかまいません。連絡が付きやすいものをお願いいたします。

※CPDS は、要 不要 のどちらかに○をしてください。